

課題： 第一次世界大戦を離脱したロシアは、どんな国家の仕組みを選んだのか？

4. ロシア革命（1917年） 教：P.200～201

(1) 三月革命

背景：第一次世界大戦による生活不安や物資の不足

→国民の不満が爆発…「パンと平和」を求めてストライキや兵士の反乱

民衆の代表会議＝ソビエトが各地に設けられる

⇒ロシア皇帝ニコライ2世が退位

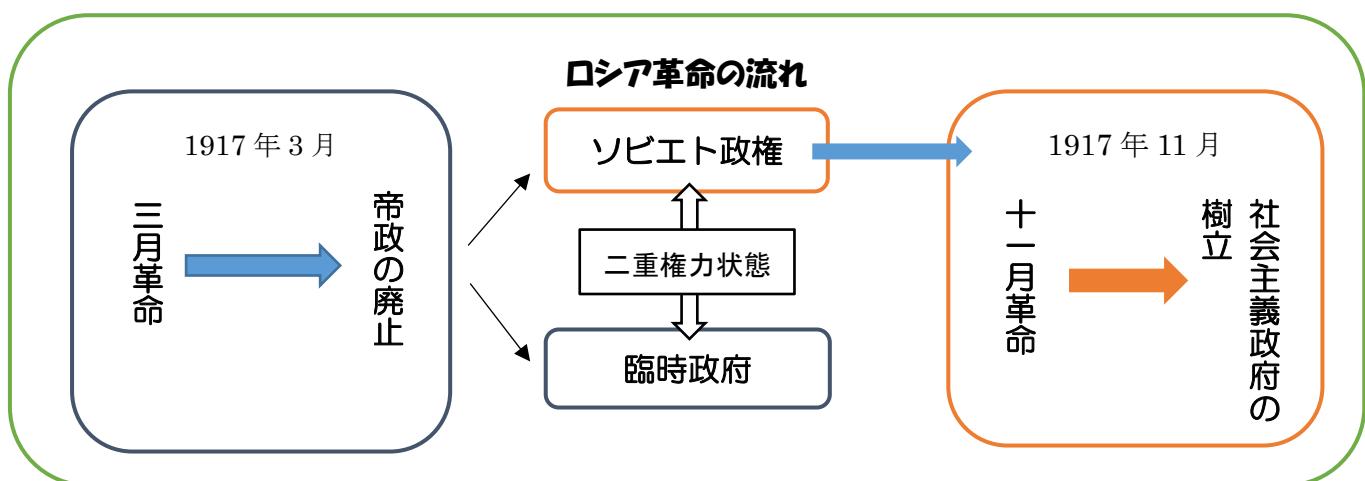
(2) 十一月革命

臨時政府は戦争継続を主張



労働者・農民・兵士の不満は大

⇒レーニンが革命を指導…史上初の社会主義政府が成立



5. ソビエト政府の成立

(1) ドイツとの講和→第一次世界大戦から離脱(1918年3月)

(2) 諸外国の干渉

…革命の拡大を恐れた各国がロシアへ派兵

→米英仏日がシベリア出兵

(3) ソビエト社会主義共和国連邦の成立(1922年)

① 共産主義の実現…社会主義を徹底し、すべての財産を共有して平等な社会をめざす

② 五年計画の実施(1928年)

…計画経済による国力の伸長をめざす

国が生産体制などをすべて管理する経済

まとめ：